

柑芦会 本部 ニュース

第30号 2022.1.1.



wakayama
univ.

国立大学法人
和歌山大学

—そして ここから—



1. ご挨拶



新年ご挨拶

柑芦会会長

北村 修一 (大18)

皆さまには、輝かしい新年をご家族と共にお健やかに迎えのことに、お慶び申し上げます。

コロナ禍が3年目に入り、生活や仕事のあり方が大きく変化していますが、一方では新しいやり方やあり方も定着するなど、人類はしたたかにそれと共存し克服しつつあるようにも見えます。

さて、今年の干支の「寅」の特徴は「新しい成長の礎」だと言われています。柑芦会にとっても、今年は経済学部の前身である和歌山高等商業学校の創立から100年を迎え、また柑芦会自体も4年後には設立100年を迎えることとなります。過ぎし100年を振り返り、これから先の100年を展望するためにも、それらを記念しお祝いする事業が今年から来年の間に計画されることとなります。内容的には、記念行事のほか、学部の100年史の発刊と頒布などが中心となりそうですが、明確になり次第皆さまにも詳しくお伝えしてまいりますので、是非とも多くの方々のご参画をお願いする次第です。

また柑芦会においては、会員数の逓減傾向に歯止めと財政の健全化を図るため、体制強化と各種事業の再構築などを副会長会議や支部長会議、各種委員会活動などを通じて検討し、一つずつ実践してまいり所存です。

皆さまにおかれましては、引き続き柑芦会活動へのご理解とご支援をいただきますよう、よろしくお願い申し上げます。

2. 支部だより

東海支部

令和3年度柑芦会東海支部総会報告

東海支部長 垣見 祐二 (大25)

東海支部総会および懇親会を、11月20日(土)、東京第一ホテル名古屋錦にて開催いたしました。コロナの感染状況によっては開催が難しくなる場面も予想されましたが、幸いにも東海地区も含め、全国的に感染状況がおさまりをを見せていたこともあり、参加者集合によるリアル開催ができました。出席者は24名と従来と比べ半数程度でしたが、ご来賓として、柑芦会本部からは北村会長、大学からは芦田経済学部長にお越しいただき、会を盛り上げていただきました。

総会では、垣見支部長、北村会長、芦田学部長からの挨拶、および和歌山大学伊東学長からのビデオメッセージをいただきました。続いて、伊藤副支部長から、令和3年度事業報告、会計報告、会計監査報告、令和4年度の行事予定および会費納入状況が報告され、全員の拍手をもって承認されました。

総会終了後、出席者全員での記念写真撮影、そして懇親会へと移りました。懇親会は58期佐藤里香さんの司会で進められ、今回は比較的少人数となった会合の特色を活かし、出席者全員による近況報告をメインとしました。持ち時間を3分間とし、各人がステージに立ちスピーチをしていただきました。起業した若手からの報告、中堅からは会社での活躍の様子、シニア層からは退職後のボランティア活動等、アットホームな雰囲気のもと、懇親会予定時間の2時間があつという間に過ぎました。

令和3年度はコロナ禍の影響により、企画していたイベントはほとんどが延期となり、必要な会議・打合せもオンラインでの実施になるなど、東海支部の活動も大きく制約された一年でしたが、久々のリアルな形式でのイベントの良さを満喫できました。また、同窓会支部の重要な役割である世代を超えた会員相互の交流という目的を、今回イベントを通して実現できたと思います。



若者の会と広島支部総会の再開

広島支部長 三吉 規央(大 45)

若者の会は、広島支部の女性会員のために作りました。最近の和歌山大学経済学部の新入生の女性比率が40%にも達すると伺って、実相に合わせたのです。そのため会場も女性が訪れやすい場所を選びました。初回は美術館内の飲食店です。そして早速次回の会場についても初回参加者に予告しておきました。そこは私が女性がよく訪れていることを現場で確認しておいた街中の飲食店です。良い店を知っていたら教えて欲しいとも言っています。

更にセッティングは私がするから次回の幹事はあなたにお願いしたいと、初回参加の男性会員に頼みました。若者には勤務もしくは勉学に集中してもらいたいと思うからです。私は来年も広島市内で雰囲気の良い店を探し、柑芦会本部と和歌山大学から提供された情報により卒業生へ参加を呼びかけます。参加資格が設けられており、30歳までです。だから支部長といえども挨拶しかしません。

初回の様子を見るに、若者の会は次回もこのまま上手く続けていけそうです。おそらく支部総会の会員参加率よりもずっと高い参加率となるでしょう。大学を卒業したばかりの若者が同窓生同士で情報交換出来る場になればよいと考えています。

3年ぶりの広島支部総会は、総会前に福山と広島で開いた支部活動再開のための会合に、それぞれある程度の人数が集い、私よりも若い会員の参加もありましたので、安心して支部総会のお知らせを会員に発送し、当日に納得できる人数を揃えて開催をすることが出来ました。

そして柑芦会本部より支部活動活性化支援の一環として、開催地より50km以遠の居住者の交通費の半額を補助してもらいました。

最終的に補助金額が5名分1万6千円強で済みましたので、来年度も広島支部からの独自の補助として継続するつもりです。私による支部会計の収支目論見では、当分の期間続けられそうです。

今回、残念だったのは、やはりコロナ禍で会場と会食内容が限られ、開催のお知らせの発送に支障があったことでしょう。コロナ禍など気にもしていない私ですが、会食ではアルコールの提供は避けられ、コロナ禍が収まった後まで大半の会員にはお誘いの発送が躊躇されたのです。

しかし、コロナ禍下においても今回の開催内容までこぎつけたことから、私は次回の開催については今回よりもずっと楽観視しているのです。

遠方から参加された北村会長と草場東京支部幹事長、そして支部活動再開お祝いメッセージをお寄せくださったフリーアナウンサーの川田裕美様には、広島支部を代表し厚く御礼申し上げます。



写真説明：

「若者の会」左より、楠岡(69), 長安(66), 小田(66)

「支部総会」後列右より、花北(15), 富中(19), 山元(49), 小田(66), 草場(34 東京)

前列右より、橋本(14), 藤井(13), 三吉(45), 北村(18 会長)

福井支部

39回 柑芦会福井支部・紀学同窓会福井支部合同総会 報告

とき：令和3（2021）年11月27日（土）午後7時

ところ：まんもと（福井市日之出1丁目13-6）

福井支部幹事長 清水 啓司(大31)

柑芦会福井支部と紀学同窓会福井支部の総会を合同で開催しました。

去年は、新型コロナウイルス感染症対策のため、書面で開催したので、一同が会し
ての総会は2年ぶりとなりました。

近年は、高齢化と若年層の加入減少で1桁台の参加が続いていましたが、10年振
りに参加された方や、紀学同窓会から、木本支部長と石川氏が参加され、総勢11名
が集まりました。

総会は、江波支部長、紀学同窓会の木本支部長が挨拶され、議事に移りました。

会計報告では、本部からの補助金が話題となり、「本部は支部活性化に力を入れて
いる。」と支部長の説明がありました。

2年の任期が満了する役員の変更について、意見を伺ったところ、「引き続き現体
制で願いたい。」との声があり、現役員が再任されました。

また、柑芦会福井支部に関するアンケート調査の実施が話題となり、江波支部長か
ら、福井県在住の和歌山大学経済学部出身者全員に調査を実施し、「会への参加の意

向」、「会からの通知の受取の可否」について、名簿登載者全員に意向を確認したい旨の説明があり、了承されました。

併せて、総会の開催日について、いつが都合が良いか伺ったところ、「以前は土曜日開催だったが、近年は金曜日で開催されていた」「役員で決めればよいが、土曜日の方が忘年会等の行事が重なりにくく、集まりやすいのではないか」との声がありました。

その他では、大学からの寄附の依頼について説明し、支部として、再度寄附することとして了承を得ました。

久しぶりの懇親会は、会員のみなさんの現状や、学生時代の話に花が咲き、和歌山を訪問したいと盛り上がりました。

会員の減少、総会参加者の高齢化といった課題は、解決が困難で、会費を安くしたり、平日の会社帰りの方が参加しやすいのではないかと金曜に開催したり、色々試みっていますが、如何ともし難い状況が続いています。

資料

令和3年 月 日

柑芦会福井支部 会員各位

柑芦会福井支部長 江波 庄進(大 24)

柑芦会の会員継続について(意向調査のお願い)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。日頃はそれぞれのお立場でご活躍のことと拝察いたします。

さて、和歌山大学経済学部同窓会の柑芦会につきましては、大正 15 年に和歌山高商の第一回卒業生が発起人となり発足した歴史と伝統のある同窓会です。みなさんご承知のとおり、いまま本部を中心に全国に各支部が結成されており、様々な活動を展開しているところです。本部では、随時の柑芦ニュースの発行や年一回の柑芦会誌の発行をはじめ、web による情報発信も行っています。

しかしながら、こうした同窓会組織の全国的な傾向ではありますが、近年は組織の停滞、会員の減少・希薄化が課題となっています。当柑芦会においても例外ではなく、住所等が分からず消息不明となっている方、あるいは郵便等は届いているはずなのに音信不通の方も少なくないとのことです。

本部及び各支部長等による会議でも、会の活性化が最重要との認識で一致しており、すでに先進支部では取り組みが始まっています。

そこで福井支部としても、この機会に会員のみなさんの意向をお聞きして今後の活動の指針といたしたく、次のとおりアンケート調査を行うこととしました。何かとご多忙のところ恐縮ですが、ぜひご理解とご協力をお願いいたします。

アンケート

1 本部及び福井支部とのかかわりについて(ご自分の意向の項目に○)

① 引き続き交流したい

(本部及び支部からの情報提供や案内等の送付を希望)

② これからは都合がつけば参加したい

③ 参加は難しいが、引き続き情報提供はしてほしい

- ④ 今後、連絡・案内等は希望しない
- ⑤ その他(ご意見等)

※ ④と回答された方には今後、本部及び支部からの連絡等を行いません。

2 1で①及び②と回答した方にお聞きします。会の活動や総会の時期などについてご希望があれば記入してください。

- ① これからの会の活動等について
- ② 総会の時期や場所、曜日、時間等について
- ③ その他(意見等)

3. 寄稿①

「2021年雑感」

経済学部 准教授 清弘正子

(大40期、院28期)

謹んで初春のお慶びを申し上げます。商法・会社法を担当しております清弘正子と申します。

2021年も色々ありました。大学生活を振り返ってみようと思います。

1月。2021年の年明け、講義の多くは遠隔授業の形で行って行っていました。1月と言えば、4年次生にとって卒論の追い込みの時期で、研究室に次々訪れる学生の卒論指導を行うのが常ですが、これも、遠隔での指導が多くなりました。我がゼミ生たちは、日時をかなり自由に設定できるという遠隔指導の利点を大いに利用していたように思います(教員の私生活への影響はさておき)。ただ、前年の春以降、図書館が不自由だったことは、個々の卒論に大きく影響しました。

4月。講義室での距離を確保できない大講義を除いて対面授業という状況で、新入生を迎えることができました。その後、緊急事態宣言発出に伴う遠隔授業の期間はありましたが、新学期を対面授業で始められたことは、学生同士のコミュニケーションの点から、大きな意味があったと思います。

8月。経済学部研究棟(西3号館)の耐震工事のため、研究室の仮居室への引っ越しが行われました。数か月前から、荷造り・ラベル張り等を進めたもので、掛かる時間のことを考えると、2度と行いたくないというのが正直なところですが、先日、経済学部等に戻る作業をそろそろ始めなきゃいけないね、というアナウンスがありました。ともあれ、今後、耐震改修の済んだ研究室を使わせていただけるというのは、ありがたいことです。

10月。和歌山水道管橋の崩落のために市の北部が断水し、その影響で、大学も2日の休校、1週間の遠隔授業となりました。まったく想定外の事態で、原則対面での後期授業が開始された矢先だったこともあり、まさに、出鼻をくじかれたという感じでした。給水所に行く必要などから、講義を欠席せざるを得ない学生もありました。他方、地域の皆様から大学に対してご支援もいただき、感謝しております。

この原稿を書いている12月現在、キャンパスに学生が戻っています。講義・学生生活が通常通りに戻ったわけではありませんが、新しい年が、落ち着いて学生生活を営める状況であることを心から願っています。

皆さまにとって、希望に満ちた一年となりますようお祈りいたします。



写真:改修工事中の経済学部棟(左右とも)

3. 寄稿②



和大と山

徳島支部長
多田 昭弘 (大26)

私の山登りは高校の登山部入部から始まりました。

そして、和歌山大学に入学して、高校時代あまり登山部活動ができなかったということもあり、もっと山登りをしたいという気持ちからワンダーフォーゲル部に入部させていただきました。

ワンダーフォーゲルの部室は旧高松校舎松下会館に近いグラウンドの南側にあり、秋葉山、権現山、片男波などでのトレーニング、全国の山を股にかけて、まさしく渡り鳥の如く旅をしていたのが懐かしく思い出します。

大学時代、学業に頑張ったとは言えませんが、もう少し山に登りたいということで同じクラブの友人と示し合わせ1年留年して、今頃、同期は仕事をしているだろうなと少し気にしながら山に出かけたものでした。

社会人となってからも山に登りたいという欲求は私のなかで封印することが出来ず、社会人山岳会や職場の登山クラブに入会して登山を続け、岩登りや雪山にのめり込んだ時期もありました。

こうしたことから、私の山登りの原点は和大のワンダーフォーゲル部にあったと思います。ワンダーフォーゲル部OB・OG会が開催されれば、半数近くの元部員が結集しており、同じ釜の飯を食べた仲だからかと思いますが、この思いや感覚を柑芦会の集まりにも活かすことが出来ればと考えています。

現在、好きなことは一生涯できればいいなと思い、職場を退職してから登山ガイドの資格を取り、プロガイドとして活動しながらワンダーフォーゲル部の先輩とも時々岩登りを楽しむ日々を過ごしています。

コロナ下ではありますが、柑芦会の皆様におかれましてはお体をご自愛いただき、良い新年をお迎えください。



写真：旧・高松キャンパスの近況、(左)松下会館、(右)旧・高松電停前のお店

4. 事務局より

「柑芦会ホームページ」 リニューアルのお知らせ

柑芦会では、この度ホームページ（HP）をリニューアルいたしました。URLは下記のとおりです。

■ 柑芦会 新HP：<https://dousoukai.site/kourokai/>

内容的には、全国の各支部の連絡先情報、支部総会などのイベントの開催状況や、同好会・同期会の情報、住所等変更届け、新着情報などを掲載していきます。

また、これまでは紙ベースが主体であった年報の「柑芦」誌や「柑芦ニュース」、「本部ニュース」などの広報物も、今後は順次デジタル化してこのHPに掲載するようにしていきます。さらには、フェイスブックの支部ページや同好会のグループもこのHPにリンクを張るなど、HPを柑芦会内のすべての広報物のハブ的な存在に育てていきたいと考えていますので、新規のリンク張りや改良などの要望がある場合はご遠慮なく事務局までご相談ください。

(連絡先：藤井、浦。 honbu@kourokai.org、☎06-6941-4986)

記事としては、まだまだ「準備中」の部分も残されていますが、皆さまからの率直なご意見やご提案も反映しながら、さらに充実した内容にしていきたいと考えていますので、是非一度ご覧いただきご感想やご意見をお寄せいただければありがたいです。

柑芦会ホームページからのリンク先は下記の通りです。

- ① F a c e b o o k 和歌山大学
<https://www.facebook.com/wakayamauniv/>
- ② F a c e b o o k 柑芦和歌山（非公開）
<https://www.facebook.com/groups/934300900345348/>
- ③ F a c e b o o k 柑芦会東海支部（非公開）
<https://www.facebook.com/groups/1456206737958138/>
- ④ F a c e b o o k 柑芦会東京支部（非公開）
<https://www.facebook.com/groups/325065827574556/>
- ⑤ F a c e b o o k つれもて会
<https://www.facebook.com/groups/829382150926902/>
- ⑥ F a c e b o o k 柑芦会（限定）川柳サークル（非公開）
<https://www.facebook.com/groups/520033028716645/>
- ⑦ F a c e b o o k ワンダーフォーゲル部OB会（非公開）
<https://www.facebook.com/groups/339857742761395/>

以上

■ 読者の皆様からの「投稿」もお待ちしています！

(注)編集の都合上、次号に回る場合や文字数の調整をさせていただく場合があることをお含みください。

和歌山大学経済学部同窓会 柑芦会 本部 事務局
〒540-0012 大阪府中央区谷町 4-4-17 ロイヤルタワー大阪谷町 207 号
Tel:06-6941-4986 Fax:06-6947-7925 E-Mail: honbu@kourokai.org



<https://dousoukai.site/kourokai/>

フェイスブック
「柑芦会オフィシャルページ」
(非公開グループ)

「柑芦会ホームページ」
(公開サイト)
